

はい、では第8課のパート2、文法項目。まず8番から始めます。8番なんですけれども、この逆という言葉ですが、逆というのはoppositeという意味です。パターンとしては、Xは逆だ。例えば、朝と夜が逆だ、opposite。それから、逆にというadverbもあります。例えば、お腹が空いていて、たくさん食べてしまい、逆に、"on the contrary, contrary to what I want"というような。ダイエットのために運動を始めたら、お腹が空いて、たくさん食べてしまい、逆に、"contrary to what I wanted"というか、"contrary"という意味があります。それから、"opposite"というんでは、例えば日本語で、数字を100から逆に数えてください。だから、100、99、98というそんな言い方です。あと、この逆の方向、これは"opposite direction"という使い方です。

はい、9番ですよ。もうみんな、あの「はず」というのは、2年生の時に勉強したんですけれども、ちょっと復習だけです。このはずの前は、何々ははずだ、という文章が来るんですが、ここ、フォームなんですけれども、動詞verb、それからいadjectiveの時には、プレインフォームでも、なadjectiveの時には、何々ははずだ。はずというのは、part of speechが名詞です。だからな、adjectiveの時には、何々は。例えば、便利なはずだ。ここにあるのが、これ、面白いはず。これ、いadjectiveですよ。便利なはずだ、あるいは立派なはずだ。名詞の時には、何々ははずだ「の」をお願いします。ああとは全部、あのバープのアジェクティブ、バープの時には、プレインフォームで大丈夫です。

はい、10番です。点なんですけれども、点というのは、もちろんポイントという意味があるんですけれども、もう少しabstractですね、"in terms of"とか、"in this respect"というような使い方なんです。例えば、この点について、"in this point"。それから、サービスという点では、これ、こんな時には、"with respect to service"という使い方。あとは、文章のモディファイアも大丈夫です。例えば、店に行かなくても、買い物ができるという点で、"in this respect"、ネットショッピングに人気がある店です。それから、例えば、この留学プログラムは、ホームステがができるという点で、"in this respect"、セールスポイントですね。こんな使い方をします。

はい、11番です。ますますという意味、あのadverbなんですけれども、このま、英語としては、"More and more"とか、"increasingly"なんですけれども、ちょっと気をつけてください。ここに書いてあるんですけれども、ますます、それから、もっともっと、"more"というので、ここ、後ろのこのpredicateが、何かcontrollableの時には、ますますがダメです。よく日本人の人が、あ、どうぞ、どうぞ、もっともっと食べてくださいと言うんですけれども、ここで、ますます食べてください、こんなのはダメです。ここに何かスピーカーの、インテンションズ時には、このマスマスってというのがダメです。

はい、12番です。これは難しくないと思います。動詞のステム、マス、さようならフォームプラス直すというので、もう1度それをこのアクションをしますという意味です。例えば、書き直す、読み直す、それから、電話をかけ直す、もう1度このアクションをするという意味です。

はい、13番です。これはpassive knowledgeなんですけれども、あの、とても便利な言葉、言葉だとかフレーズだと思います。何々ことは何々だけれどもっていう、ここはもちろん、あの文ですから、プレインフォームなんですけれども、あのま、英語で言ったら、"It certainly true"、このpropositionは、true, but何かコメントをしたい時、例えば、ちょっと具体的に一緒に見てみましょう。このアパートは、駅に近くて便利なことは便利だけ

れど、家賃が何かちょっと、"Yes, it is true it's convenient"でも何かちょっとコメント、"Something is missing"というこんなコメントが入ってきます。それから、あの人はいい人はいい人なんだけど、あ、いい人だけど、ちょっと頑固だね。"It's true that person", "He is a good person", ちょっと頑固だね、何かちょっとコメント。ですから、ここ、便利なことは便利だけど、それから、いい人はいい人だけど、リピートをお願いします。これまたクラスで、あの一緒に練習します。

はい、14番です。おかげ、せいなんですけれども、あの、英語の場合も多少あるかと、"Because of", "due to"というでも、日本語のおかげせいていうのには、使い方にとっても大きな違いがあります。おかげを使う時には、何か感謝をしている、"thanks to"の意味があります。でも、「せい」というのは、本当に、"due to"何かちょっと、blamingしている、気持ちがあります。例えば、友達が手伝った、手伝ってくれたおかげで、ありがとうという気持ちがおかげにあります。そう、授業料を払ってくれる兄のおかげだ、お兄さん、ありがとうという気持ちがあります。でも、せいの時には、何かblaming、例えば、夕べ飲みすぎたせいで、こんな風に、これがダメです、"due to"という意味がありますので、気をつけてください。もちろん、ここ、センテンスモディファイアの時には、ここはプレインフォームです。

はい、15番です。ドンドンというadverbなんですけれども、これも、"increasingly"なんです。さっき勉強したますますよりも、もう少し、fast paceです。でますますの時には、例えば、ますます食べてください。ますます食べてください、これがダメでした。けど、どんどの時には、えっと、ここ、controllable actionが大丈夫です。だから、どンドン質問してください、どうぞ。どンドン食べてください、これも大丈夫です。このどンドンというのは、だから、at fast pace、何かそのステートが変わるという意味です。

はい、16番です。何々にというものなんですけど、これ、"Every Time"たびにというのは、"Every Time you do this ACTION"という意味なんですけれども、例えば、日本に行くたびに、新しいことを学んで帰ります、とかですね。それから、休みにうちに帰るたびに、"Every Time I go home"、どンドン、この犬なんですけれども、犬が大きくなっている。もちろん、名詞も大丈夫です。例えば、休みのたびに、テストのたびに、とか、デートのたびに、デートのたびに、おいしいレストランに連れて行ってくれる、こんな使い方をします。

さて、最後、17番、とうとうなんですけれども、とうとうというのには、英語の"Finally"とか"Last"という意味があります。例えば、とうとう、博士論文が完成した。それから、とうとう、オリンピックに参加することができたんですが、日本語にその"at last", "Finally"というのに、こんな3つの、とうとう、それから、ついに、やっとという、この、これ全部英語に直したら、これ、"Finally"になるんですけれども、これは授業で、どんな風に違うか、ちょっと練習をします。はい、以上です。